

2014年12月25日

株式会社ボーイジャー

12月26日 ボイジャーより新刊電子本

毛丹青 著『にっぽん虫の眼紀行——中国人青年の見た日本』

中国で大人気 雑誌『知日』の仕掛人
憎み合ってる場合じゃない、知り合うことで相手を愛す

株式会社ボーイジャー（本社：東京都渋谷区、代表取締役：鎌田純子、以下：ボーイジャー）は12月26日より、自社の運営する「BinB store（ビー イン ビー ストア）」にて、毛丹青 著『にっぽん虫の眼紀行——中国人青年の見た日本』を電子本として発売いたします。

著者の毛丹青は、1987年留学生として来日以来、日中相互に繰り返された愛と憎しみを受けて両国の架け橋となる活動の数々を行ってきました。北京で発行された雑誌『知日』は、2010年9月尖閣諸島中国漁船衝突事件後の反日運動の嵐の中であえて企画され成功を導きだしました。日本版『知日』が発行されることになった今、本書を新しい電子出版物として復活させ、もう一度手元にひらく機会がやってきたと思います。なお、今回の電子本のご購入者には、すでに販売機会を失い断裁される運命にあった上製本を、あわせてお届けする計画です。



「一九六〇年代から始まった中国文化大革命の後半期を小学生として過ごした私は、実体験とはまったく無関係なところで生活していた。当時は紙に書かれた文字が現実だと思っていた。つまり虚構・仮想という非現実の世界にいたと言えるかもしれない……日本での留学生生活を終え、社会人として日本の水産会社で働きはじめ、総合商社に転職した。かつて書斎のなかで学んだ知識、それに書物から理解した日本人と、現実の生活のなかで接することができ、彼らのなかでいろいろなことを体験してきた……本書に描き出したものはその多くが些細なことに起因しているが、原因が何であれ、私は針の先ほどの物事に対しても、全力でその事に当たり、心から打ち込み、心から悲しみ哀れみ、そして心から感動する。」

本書「序 体験としての日本」より

「毛氏にはどうしてこんなにも豊かな出会いが生じるのだろうか。思うに、本当は誰でも日常の中でそうした物語に出会っているにちがいないのだが、残念なことに、心の中に物語の美酒を受ける容器《レセプター》を用意していないがために、何も気づかずに凡庸な時間を過ごしているのだ。」

柳田邦男氏による、本書「解説 美しい日本語の懐しさ」より

■販売情報

書 名：『につぼん虫の眼紀行——中国人青年が見た日本』

著 者：毛丹青（マオ タン チン）

発行元：株式会社ボイジャー

価 格：本体690円＋税

販売書店：BinB store <http://binb-store.com>

*販売対応完了になり次第、アマゾンKindleストア、iBookstore、楽天Kobo、Yahoo!ブックスストア、BookLive!、紀伊國屋書店BookWeb、honto、ReaderStore、ブックパス、eBookJapan、Google Play ブックスでも販売します。



▶書影ダウンロードはこちら

作品詳細ページ： <http://tt2.me/16639>

立ち読みページ： http://r.binb.jp/epm/e1_4721_14122014101140/

参 考 資 料：「反日」下での『知日』の成功 http://r.binb.jp/epm/e1_2868_12092014050620/

■著者プロフィール



毛丹青 マオ タン チン

作家。神戸国際大学教授。1962年、中国・北京生まれ。中国社会科学院哲学研究所助手を経て、三重大に留学。商社勤務などを経て執筆活動に。2011年日本文化を紹介する雑誌『知日』を中国で創刊し、主筆を務める。日本に批判的な空気が強い今の中国で若者文化をおしゃれに紹介するスタイルが受け、大ヒット。2015年1月5日には日本版『知日』（潮出版社）を刊行予定。2014年文藝春秋より発行された『恵恵 日中の海を越えた愛』の出版コーディネートを行い、村上春樹『女のいない男たち』の中国語翻訳も行っている。著書『につぼん虫の眼紀行』は、法蔵館/1998年、文春文庫/2001年に刊行されている。

〈株式会社ボイジャーについて〉

株式会社ボイジャー 代表取締役 鎌田純子

ホームページ：<http://www.voyager.co.jp>

1992年米国ボイジャーとの合併で創業。エキスパンドブック、T-Time、dotBook、dotPressの開発元。2006年セルシスと共同で携帯電話向けBookSurfingソリューション（現・BSソリューション）の提供を開始。2007年コミック・雑誌等の配信ソリューションとしてWebブラウザ用プラグインT-Time Crochetを開発。2011年HTML5ベースのブラウザでの閲覧システムBinB（Books in Browsers）を開発。本ソリューションは、講談社、集英社、幻冬舎、SBクリエイティブ、ヤフー、サイバーエージェント、BookLiveなどが採用している。また2010年からEPUB 3日本語ベーシック基準（日・英）を公開。EPUB日本語基準研究グループ（EPUBJP）を推進する。AMD（デジタルメディア協会）会員、またEPUB策定の国際団体IDPF（International Digital Publishing Forum）会員。

※ 商標について

T-Time、.BOOK／ドットブック、Crochet／クロッシェ、BinB、Romancerは、株式会社ボイジャーの登録商標です。会社名または製品名は、各社の商標または登録商標です。

〈報道関係お問い合わせ先〉

株式会社ボイジャー 高山みのり／岩浪カルナ

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-41-14

電話: 03-5467-7070 / FAX: 03-5467-7080

Email: infomgr@voyager.co.jp

Copyright (C) 1994-2014 Voyager Japan, Inc. All rights reserved.